
【読み切り】IS インフィニット・ストラatos

作者月詠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

【読み切り】HS インフィニット・ストラトス

【著者名】

作者月詠

N8481Q

【あらすじ】

インフィニット・ストラトスの読み切りです。

()

アサヒノル

【登場編】

青い海に青い空…白く映える煌びやかな校舎に近代的な街造り…

さて…

どうしてこうなった… oren

私がいるのは【HS操縦者育成特殊国立高等学校『HS学園』】…
学園のほぼ100%が女性という…まあ、HSは女性のみが扱え
るので仕方無し… トンデモマンモス校なのだが…何故男の私が來
ているのか。

それは…

ウチの阿呆な両親が申し込み先を間違えてここにしたのだよ…!

…まあそのおかげで、HSと出会い、私の人生は真逆に変換した…。

「つして、私…緒方双葉は歩む。

色々と面倒だと引き込まれるとは知らずに…

「間違つても双葉は女じゃござりませんよ？」

【自己紹介編】

「では次、緒方双葉」

渡されていたIISの本（究極的に分厚い）を読み返していると、機械的な教卓の前に黒いスーツの先生（女性）が私の名前を呼んだ。

恐らく自己紹介だろう。

私は静かに立ち上がりて口を開く。

「私の名は緒方双葉。私の前にいる織斑一夏と同じく男の身でありますからIISを扱える者だ。

気軽に接してもらつて構わないが、過度な期待はしないでくれ…以上」

…と、言つても無駄だらうなと考へつつ席に座る。

「よし次…」

そのまま自^コ紹介は終わっていき、休み時間…

「入試以来だな。織斑一夏」

「あ、えっと…緒方だっけ。何だ?」

「名前で構わん。何、これと言った用事ではないが男同士、親交を深めようと思つてな」

「そつか。よろしくな、双葉」

「ああ。よろしく、一夏」

流石に男一人では心細いものがある。
一人一人、友がいても良いだろう。

「そうだったよな?」

束師匠^{たばね}…

「天才とマッド?の関係は謎に包まれたまま…」

【HS編】

フフフ…やはりユウは面白い。

私の知的好奇心を余すところ無く操る…ああ、早くユウを再び操作したい…！

そんな時だった。

「そうですわね…ハンデを差し上げますわ。そこにいる、緒方双葉と一緒に戦つてもよろしいですわ」

なん…だと？

あの女性とは確か…セシリ亞・オルコット、イギリスの代表候補生だったか。

フフフ…

「フフフフ…フハハハハハハハッ！！」

「ふ、双葉？」

「な、なんですかー？」

何と好都合！何という好機！――

「ああ、そうだ。その場合、緒方にはある者からの試作ISを、織斑には「ちからが用意した試験的ISに乗る」ととなる

「つ、つまり……専用機というのだな……？織斑先生……！」

「無論、どちらも試験的であるためデータを取る形となるがな」

神というのは中々粹なもののたな！！専用機ともなれば
自由に出来るぞ！！

「良いだろ？セシリ亞・オルゴット！詳しい話はまったく聞いていなかつたが、その決闘…喜んで引き受けよう！－－－フハハハハハハ－－！」

「え、ええ…（何ですか？」の男…）」

「あ、あれー？（俺は…空氣ですか？）」

そして決闘の日：

やはり貴女か束師匠…！（汗

送られてきたメールを要約すると…

『私の開発手伝ってくれて有難う　これはそのお礼だよ～』

…とのこと。実際のメールは余計な事が多くて言えないな…。

そして送られてきたISといつのが…

『ISの名は【黒神】。基本は覚えていようだから省く。事实上
ぶつけ本番だ。頑張れよ』

織斑先生の放送?が終わり、黒い拘束具を模したような機体に触れる。

その瞬間、まるで失っていた半身を取り戻したような、自分が『完全』となつた感覚になる。

「黒神…か。フツ…共に頑張ろつではないか。なあ？黒神…」

反応は無い。

だが確かに、肯定したような感覚があった。

主人公紹介

緒方 双葉

IS学園の一年生。

15歳

暗い青髪を下で束ねたアンダーポートテールで、平均より少し高い身長の少年。

本来、機械工学の公立校に進むはずが、過失なのか故意なのか、両親のミスによりIS学園に通うこととなり、入試会場で一夏と出会い、共にISを起動させる。

ISのコアを創り出した【篠ノ之束】しのの たばねを尊敬、師事しており、その影響かISに関することに関してはマッチドサイエンティストの如くなる。

基本的には面倒だと判断した事には無関心だが、根がお人好しのため、結局は色々巻き込まれる。

専用ISは『黒神』。

黒神

双葉の専用IS。

篠ノ之束から『免許皆伝（何の…？）の証』として送られてきた謎とツッコミ所が満載な第4世代IS。

機体は黒基調で、何かを封印するかのような拘束具を模した外見をしている。

待機形態は左腕を覆う黒いガントレット。

- ・ 単一仕様能力

不明

- ・ 武装

『牙穿』
[きばうがち]

左腕と一体化した大きく黒い銃身に、さらに銃身と一体化している鎌のような刀身がある武装。

近、中、遠距離での戦闘が可能。

（見た目は『・h a c k / / G · U ·』の双銃『DG-X』）

(後書き)

如何でしたでしょうか?

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8481q/>

【読み切り】IS インフィニット・ストラatos

2011年10月7日00時45分発行